

3 洪水対策

-
- (1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知
 - (2) 河川はん濫時の避難場所の事前決定状況
 - (3) 事前に決めている河川はん濫時の避難場所
 - (4) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由
 - (5) 河川はん濫による浸水被害の際の対処
-

3 洪水対策

(1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

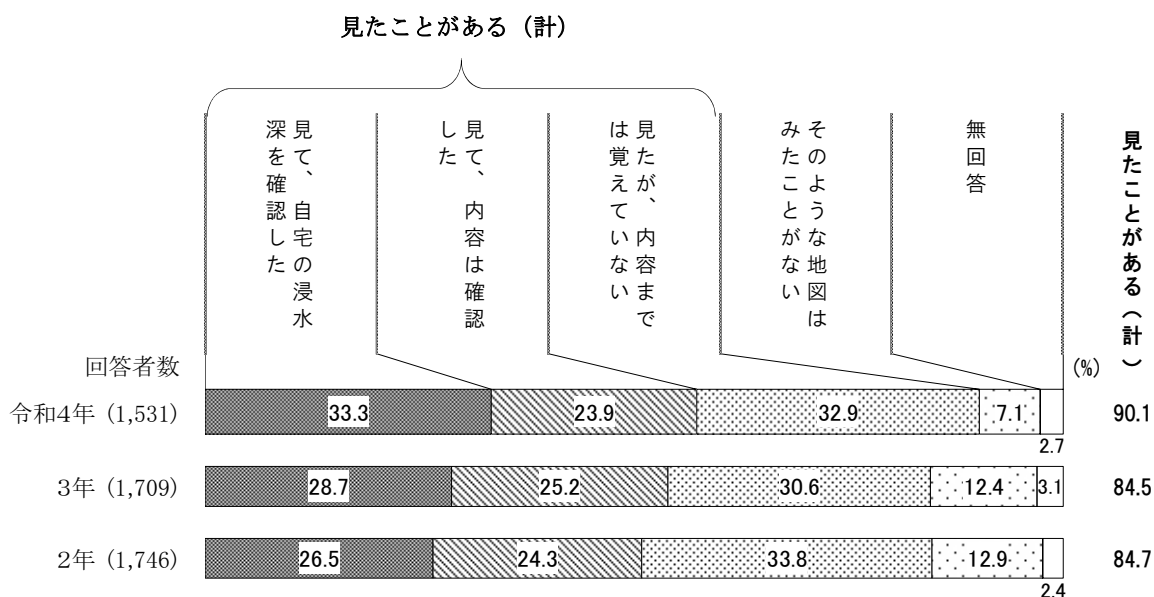
問9 あなたは、足立区が発行（区のホームページにも掲載）している「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」を見たことがありますか（○は1つだけ）。

■【見たことがある】は5ポイント増加し9割

ア 単純集計・経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、「見て、自宅の浸水深を確認した」が33.3%で最も高く、次いで「見たが、内容までは覚えていない」（32.9%）、「見て、内容は確認した」（23.9%）となり、これらを合わせた【見たことがある】は9割を占めている。
 (イ) 経年でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」が前回調査（28.7%）から4.6ポイント増加したことで、【見たことがある】では5.6ポイントの増加となり、平成27年度の調査開始以降、初めて9割台となった。

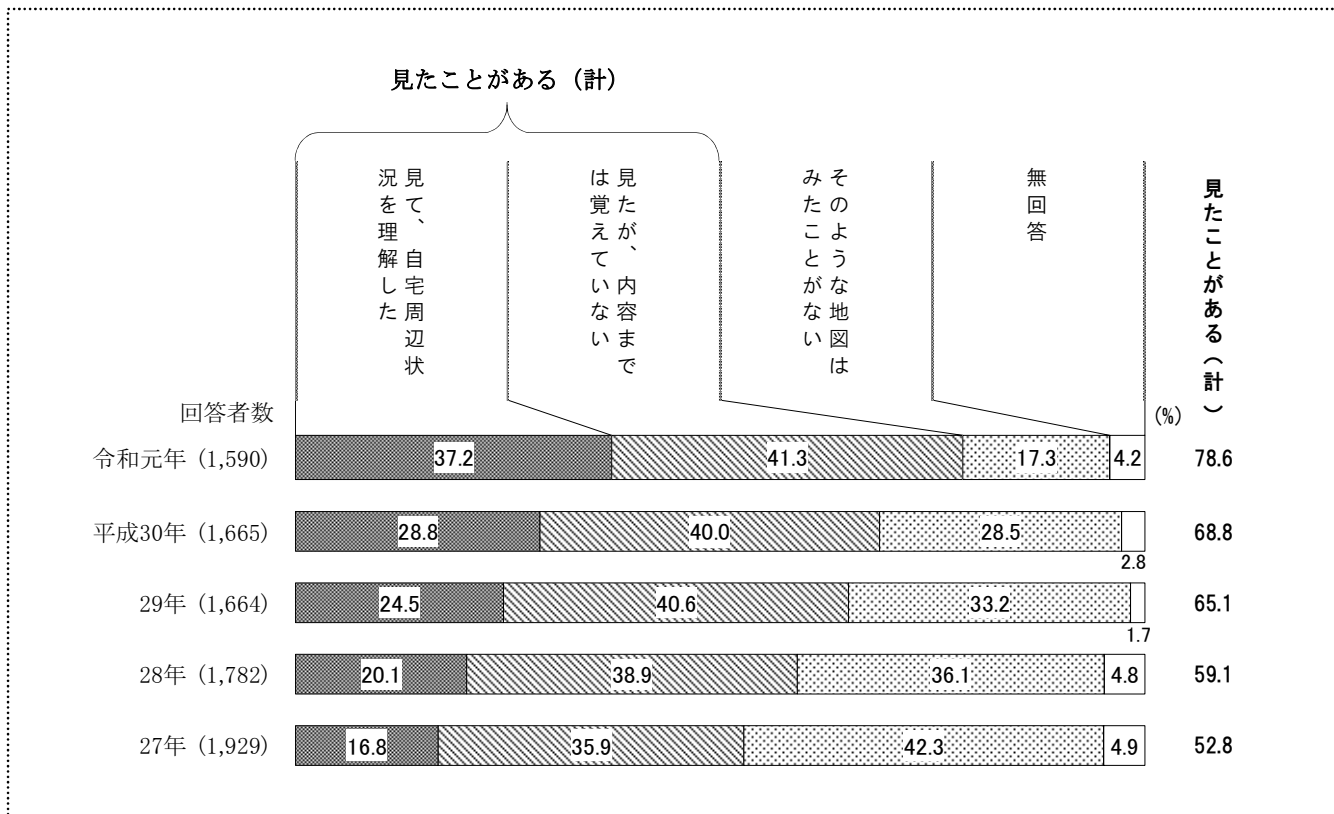
図3-1-1 経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



※ 令和3年度までの『足立区洪水ハザードマップ』は、令和4年度から、『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』に名称が変更となった。

第3章 調査結果の分析（洪水対策）

参考／「足立区洪水ハザードマップ」の認知（令和元年度までの選択肢）



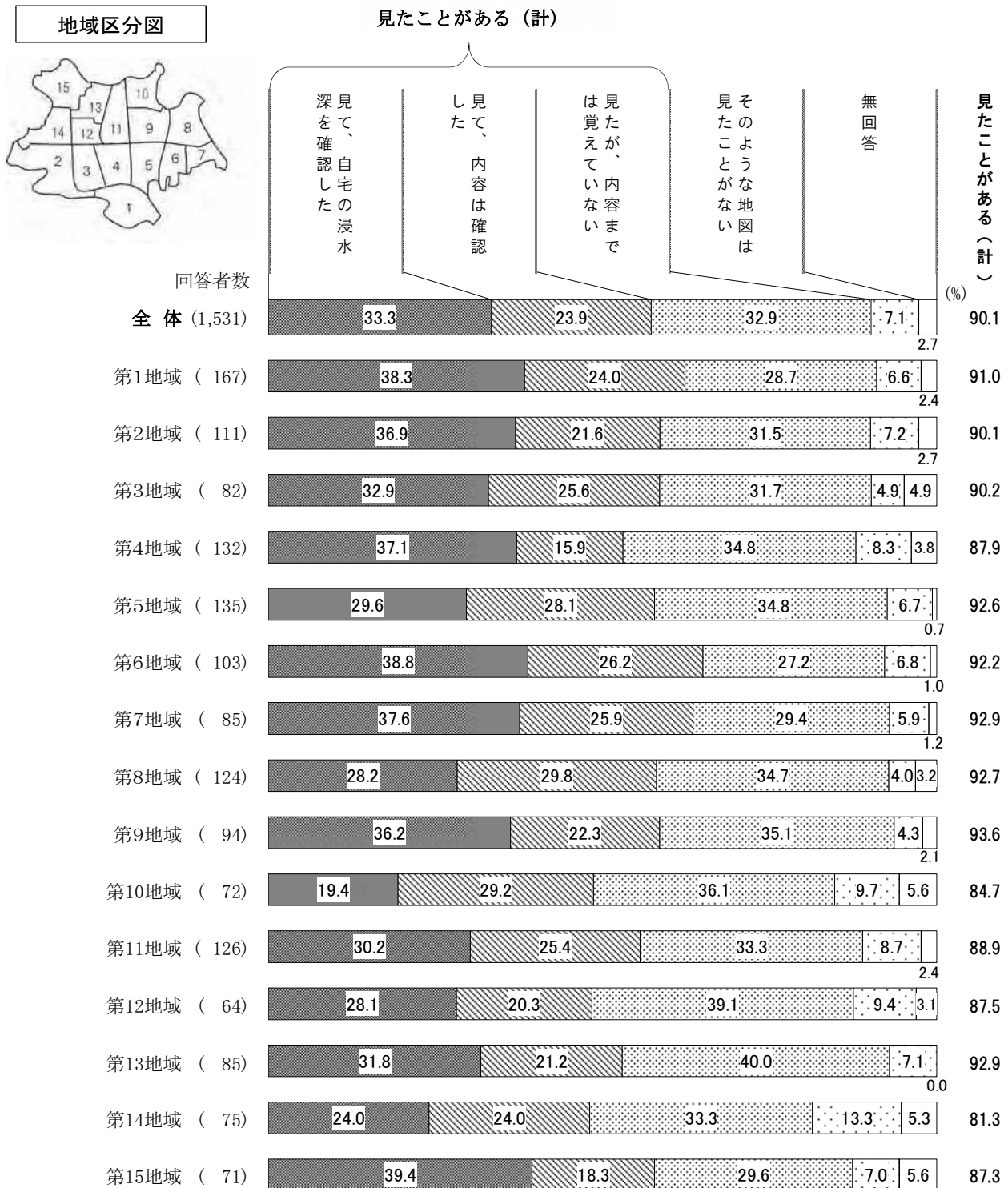
※ 令和2年度から、令和元年度までの「見て、自宅周辺の状況を理解した」が、「見て、自宅の浸水深を確認した」と「見て、内容は確認した」に2分割された。

※ 「見て、自宅周辺の状況を理解した」は、平成27年度は「見たことがあって、自宅周辺の状況を理解した」。

イ クロス集計・地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

地域別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は第15地域で39.4%と最も高く、第6地域と第1地域が4割弱で続いており、第10地域で19.4%と最も低くなっている。また、【見たことがある】では第9地域で93.6%と最も高く、僅差で第5地域、第6地域、第7地域、第8地域、第13地域が9割強で続いており、第14地域が81.3%で最も低くなっている。

図3-1-2 地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

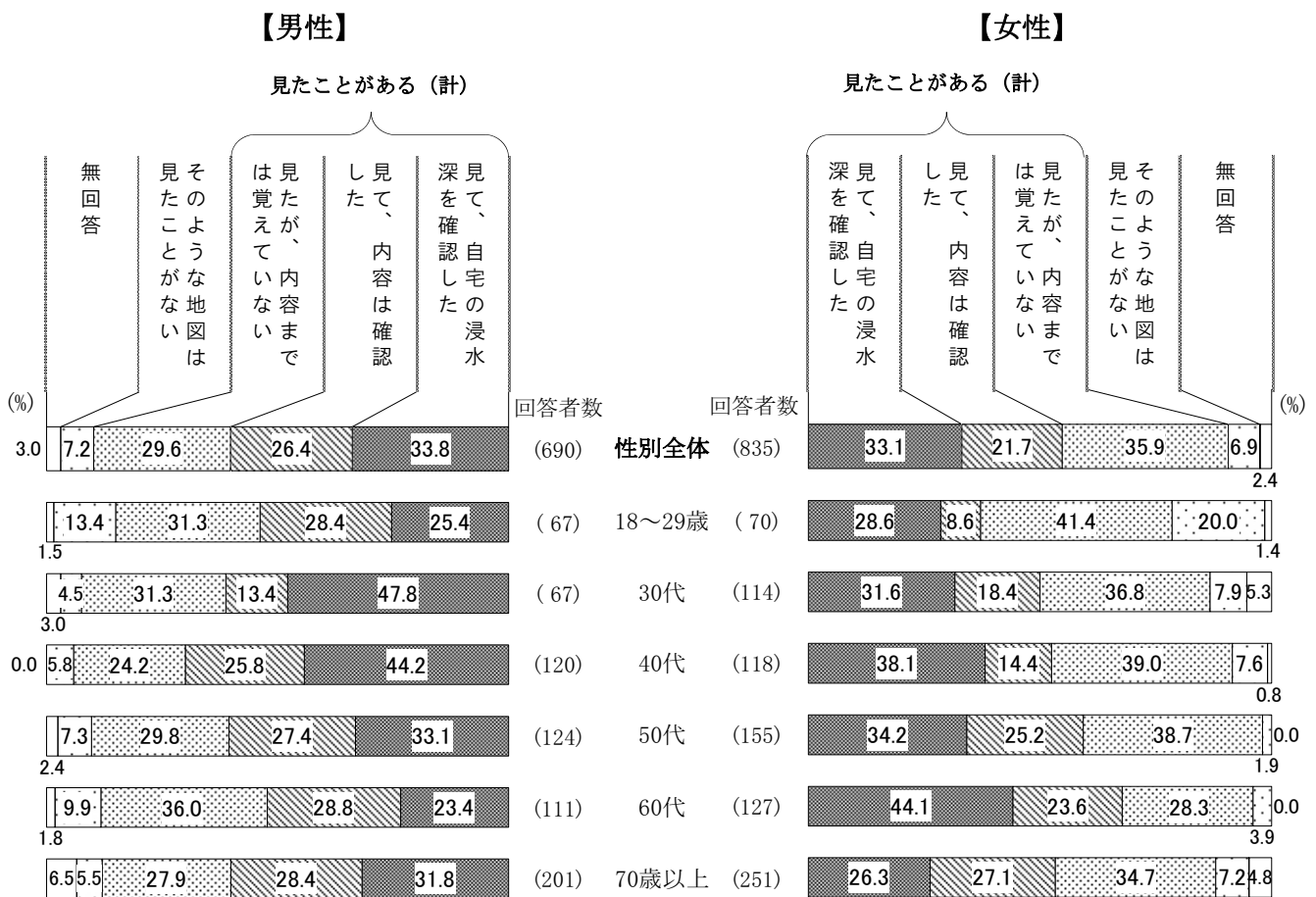


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 性別でみると、【見たことがある】では性差が無いものの、「見て、内容は確認した」は男性（26.4%）の方が女性（21.7%）より4.7ポイント高く、「見たが、内容までは覚えていない」は女性（35.9%）の方が男性（29.6%）より6.3ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は男性の30代で47.8%と最も高く、男性の60代が23.4%で最も低くなっている。【見たことがある】でみると、女性の50代で98.1%と最も高く、女性の18～29歳で78.6%と最も低くなっている。

図3-1-3 性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



(2) 河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

問10 あなたは、河川がはん濫する恐れがある場合、避難する場所を事前に決めていますか
(○は1つだけ)。

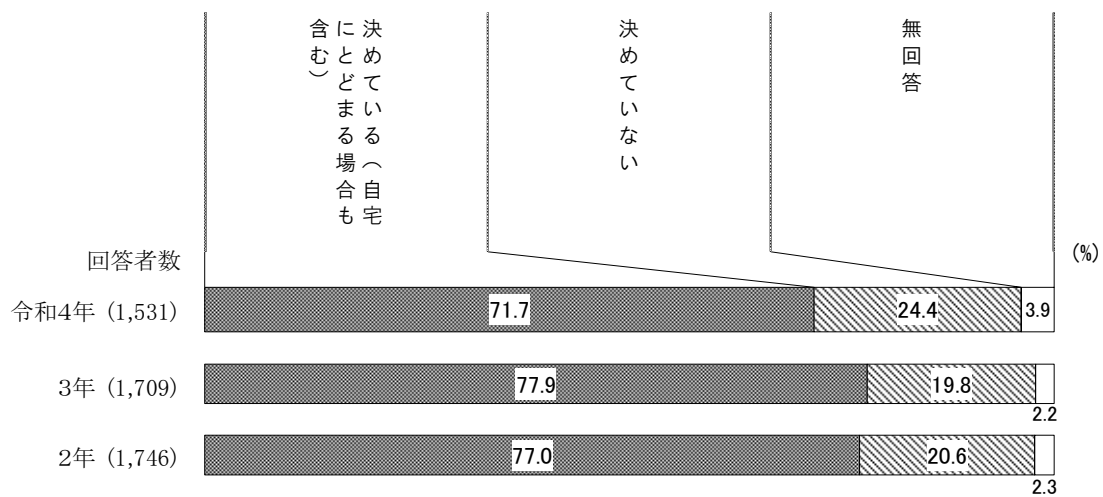
■「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」が7割強

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合の避難場所の事前決定状況は、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」が71.7%を占めており、「決めていない」は24.4%となっている。

(イ) 経年でみると、前回の令和3年調査に比べて「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」が6.2ポイント減少し、「決めていない」が4.6ポイント増加している。

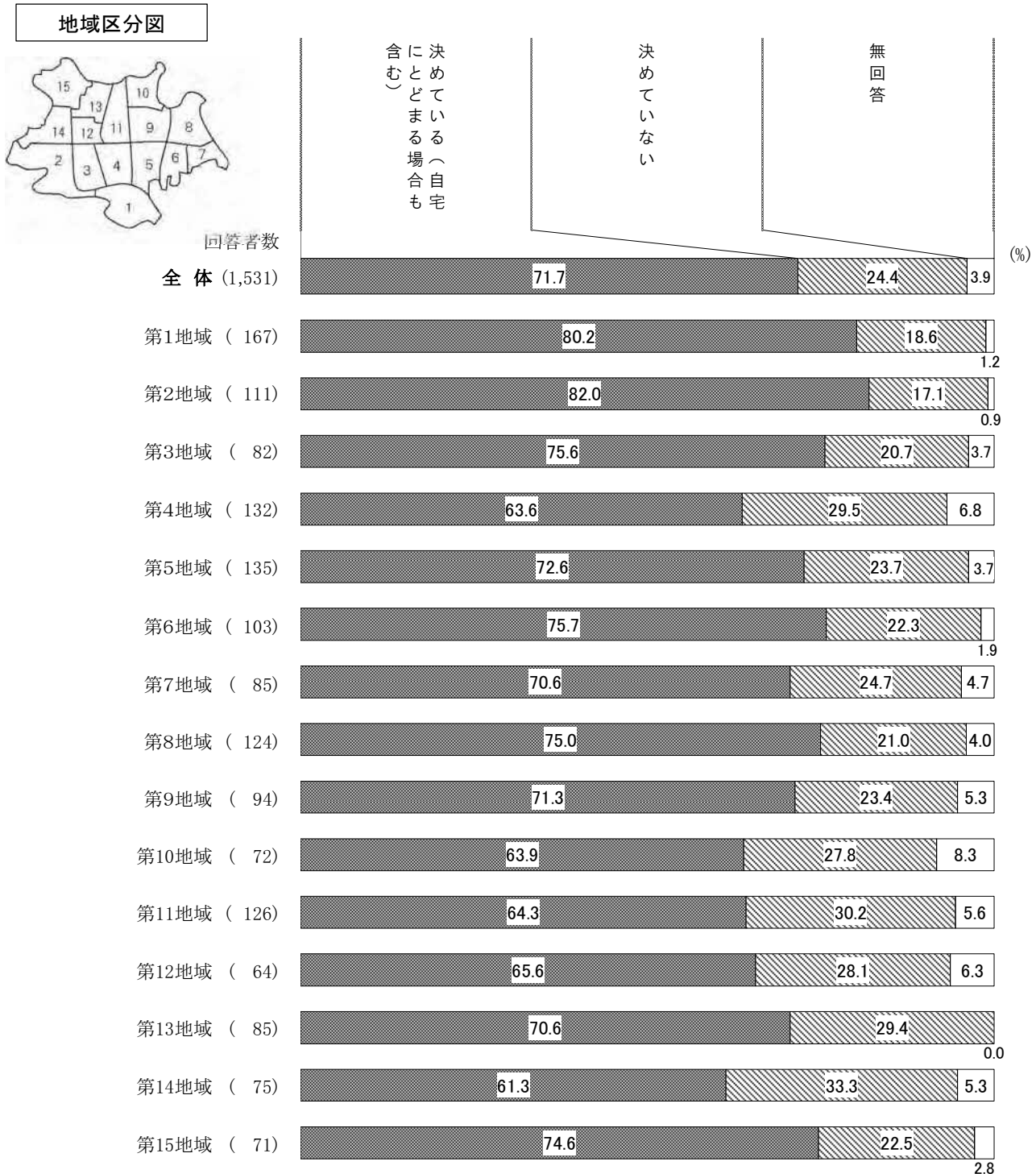
図3-2-1 経年比較／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



イ クロス集計・地域別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

地域別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は第2地域が82.0%と最も高く、次いで、第1地域が80.2%と高くなっている。一方、第14地域が61.3%と最も低く、第4地域、第10地域、第11地域、第12地域が6割台半ばと低くなっている。

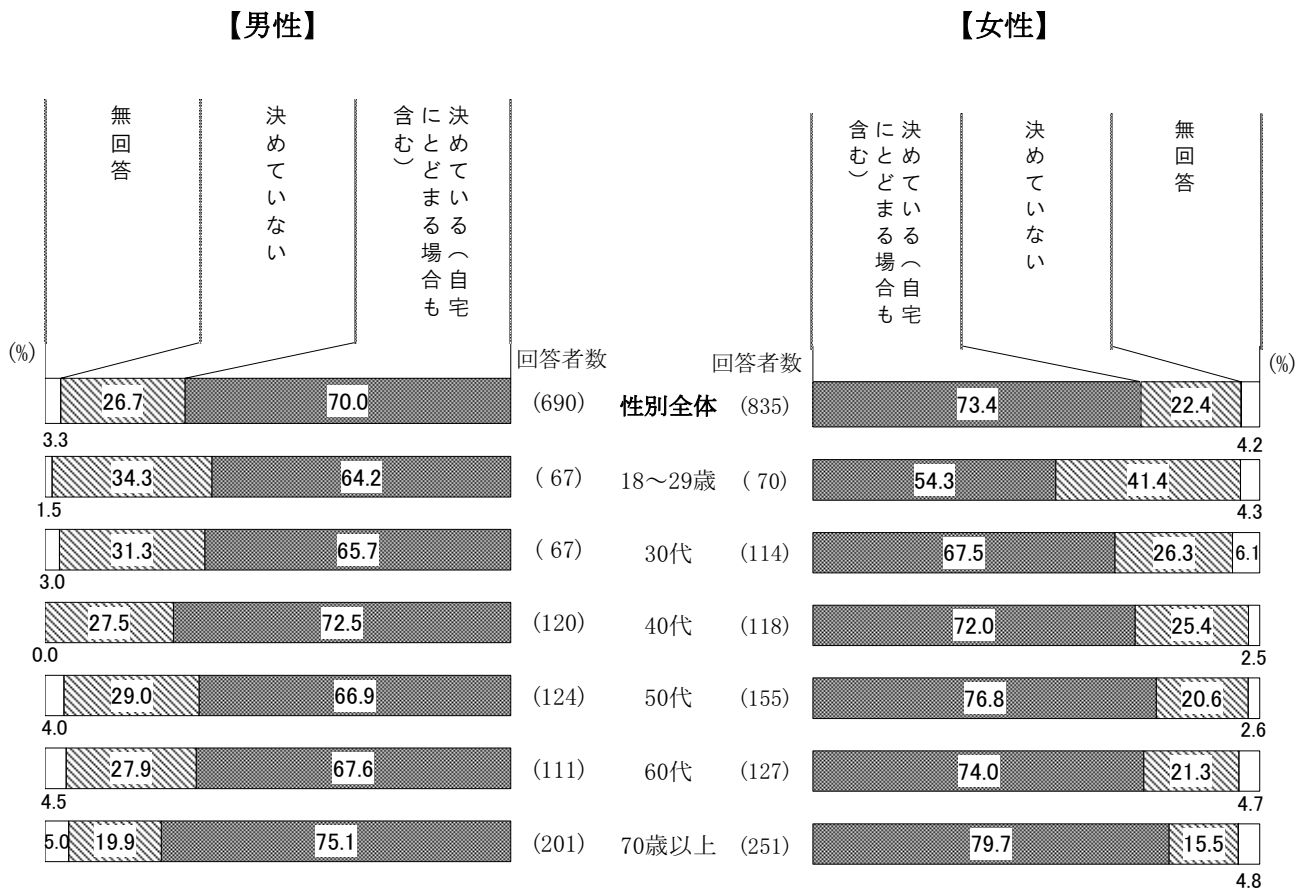
図3-2-2 地域別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



ウ クロス集計・性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況

- (ア) 性別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は、女性（73.4%）の方が男性（70.0%）より3.4ポイント高くなっている。
- (イ) 性・年代別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は女性の70歳以上（79.7%）で最も高く、女性の18～29歳（54.3%）で最も低く、男女ともおおむね年齢が下がるほど割合が低くなっている。

図3-2-3 性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況



（3）事前に決めている河川はん濫時の避難場所

問10で「1 決めている（自宅にとどまる場合も含む）」とお答えの方に

問10—1 あなたが、避難する場所はどこですか（○は1つだけ）。

■「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」が6割台半ば

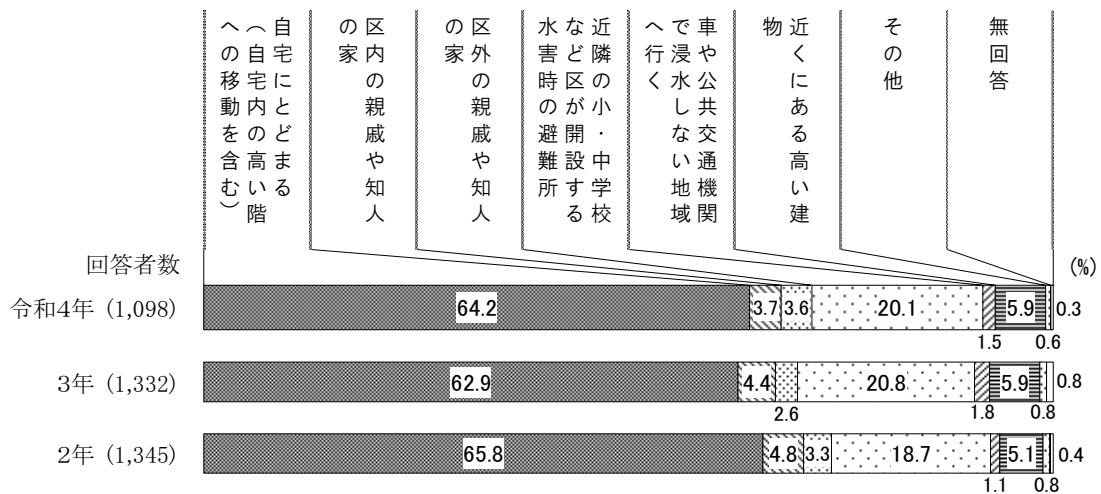
ア 単純集計・経年比較／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

（ア）河川はん濫の恐れがある場合に避難する場所を事前に「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」と回答した人に、決めている避難場所を聞いた結果、高い順に以下のとおりとなっている。

- ①「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」（64.2%）
- ②「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」（20.1%）
- ③「近くにある高い建物」（5.9%）
- ④「区内の親戚や知人の家」（3.7%）
- ⑤「区外の親戚や知人の家」（3.6%）

（イ）経年でみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は前回の令和3年調査（62.9%）から1.3ポイント微増しているが、特に大きな違いはみられない。

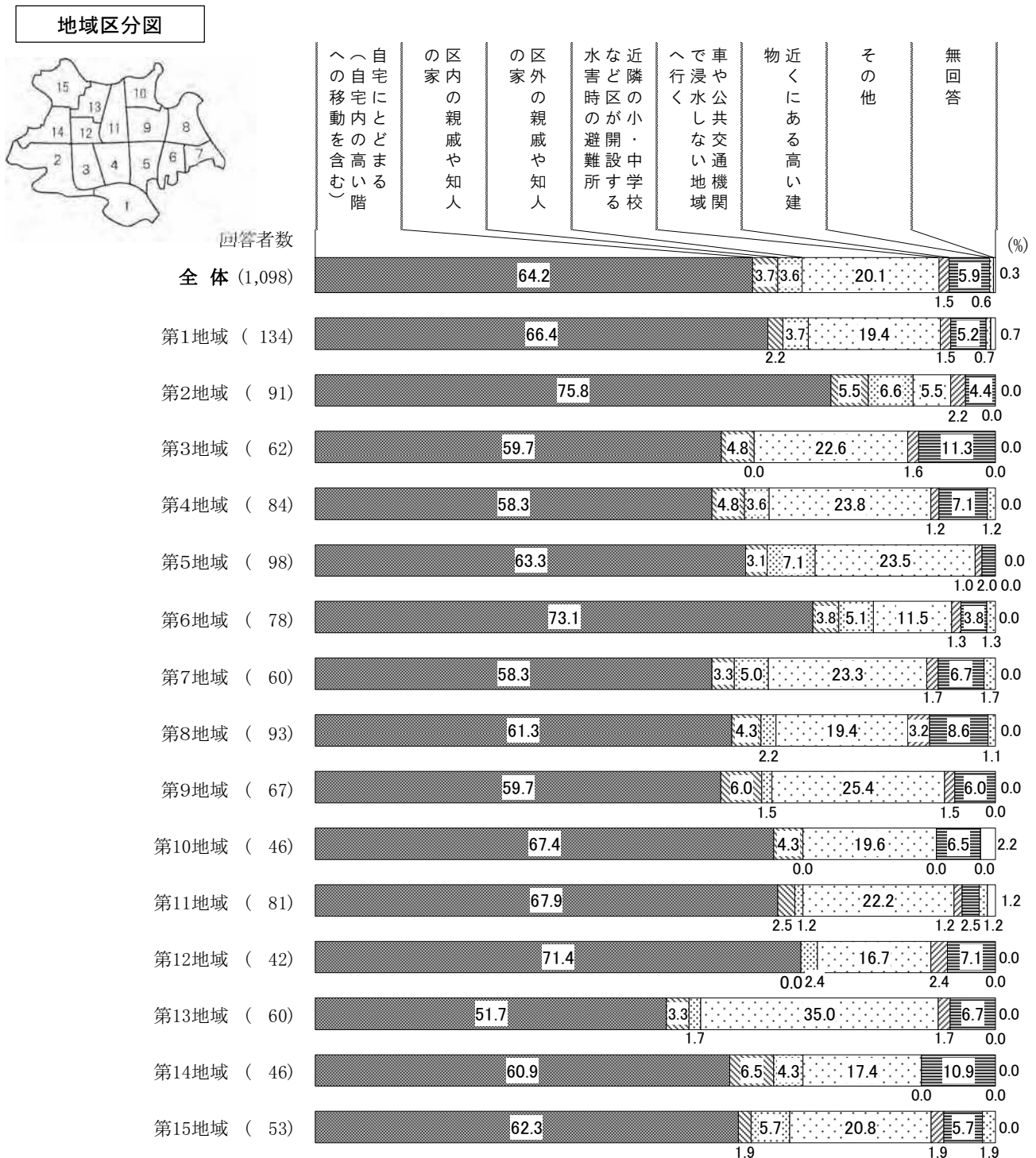
図3-3-1 経年比較／事前に決めている河川はん濫時の避難場所



イ クロス集計・地域別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

地域別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は、第2地域で75.8%と最も高く、次いで第6地域（73.1%）と第12地域（71.4%）が7割台で続き、第13地域で51.7%と最も低くなっている。「近隣の小・中学校などが開設する避難場所」は第13地域が35.0%で他の地域に比べ特に高く、第2地域が5.5%で他の地域に比べ特に低くなっている。

図3-3-2 地域別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

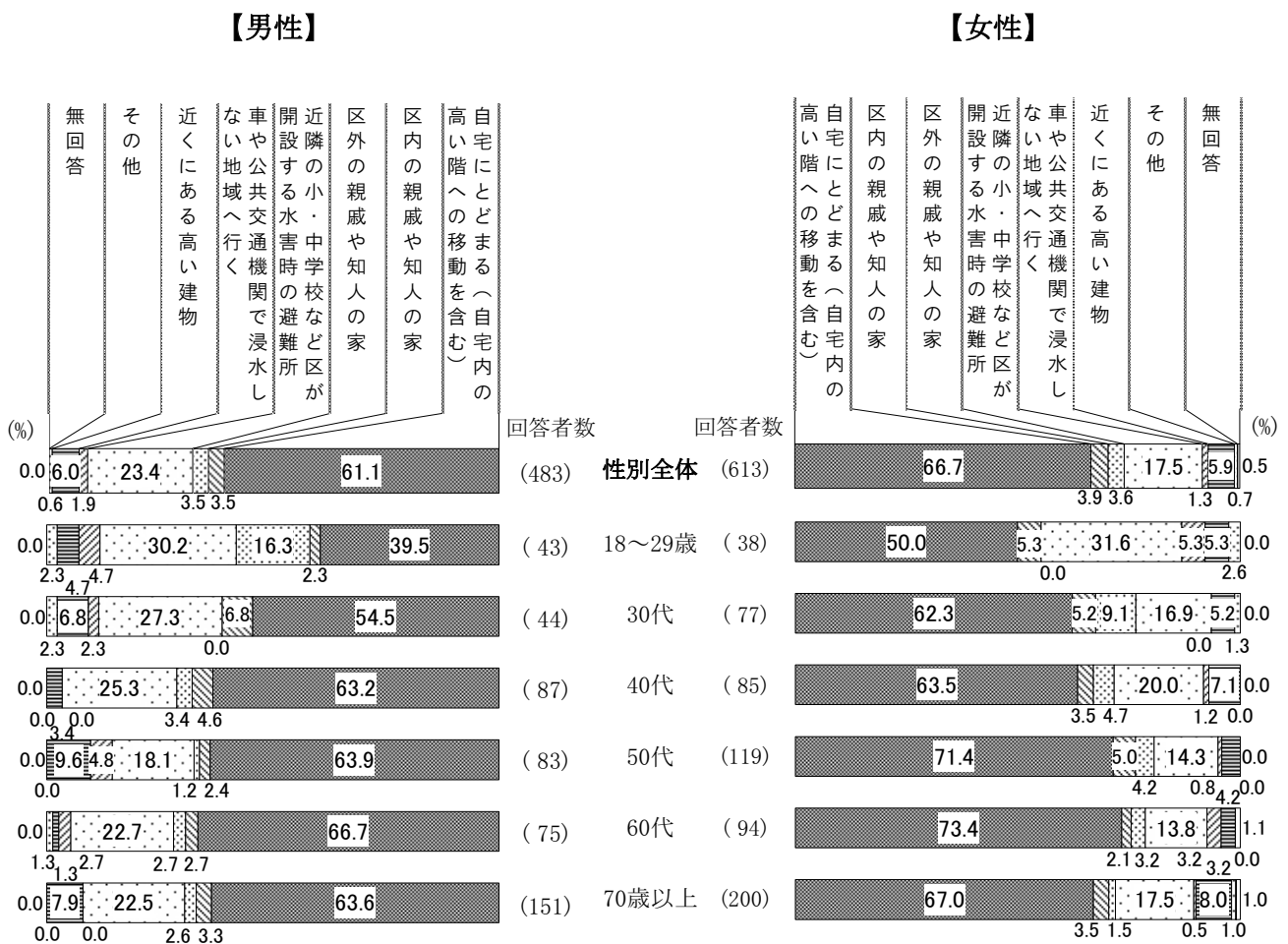


ウ クロス集計・性別、性・年代別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所

(ア) 性別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は女性（66.7%）の方が男性（61.1%）より5.6ポイント高く、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」は男性（23.4%）の方が女性（17.5%）より5.9ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は女性の60代（73.4%）と50代（71.4%）で7割台と高く、男性の18～29歳で39.5%と他の性、年代層に比べて特に低くなっている。一方、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」では男女ともに18～29歳（男性30.2%・女性31.6%）が3割台と高くなっている。

図3-3-3 性別、性・年代別／事前に決めている河川はん濫時の避難場所



(4) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

問10で「2 決めていない」とお答えの方に

問10-2 避難する場所を決めていない理由はなんですか（○は1つだけ）。

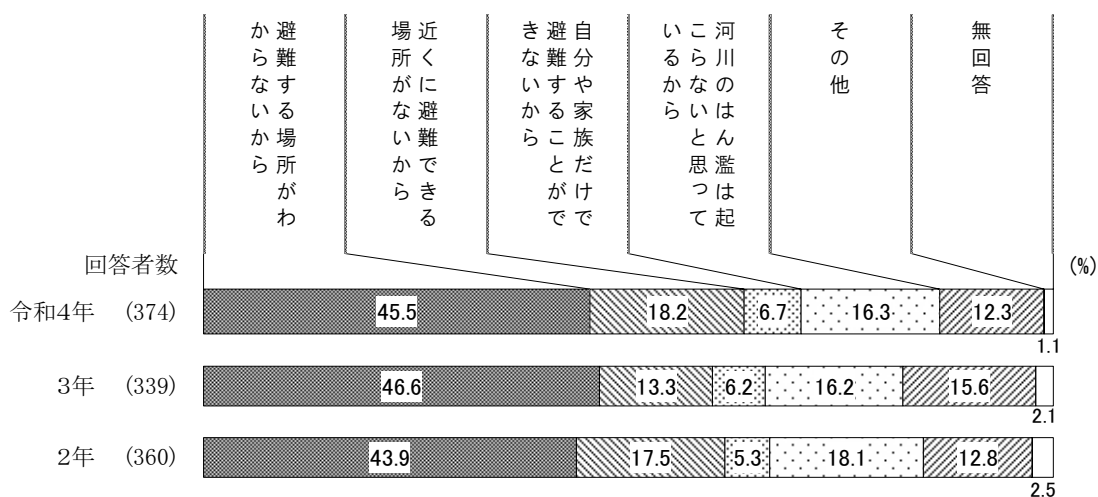
■「避難する場所がわからないから」が4割台半ば

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合に避難する場所を事前に「決めていない」と回答した人に、決めていない理由を聞いた結果、「避難する場所がわからないから」が4割台半ばと最も高く、次いで「近くに避難できる場所がないから」(18.2%)、「河川のはん濫は起こらないと思っているから」(16.3%) などとなっている。

(イ) 経年でみると、「避難する場所がわからないから」は前回の令和3年調査と大きな違いはないが、「近くに避難できる場所がないから」(前回13.3%)が4.9ポイント増加している。

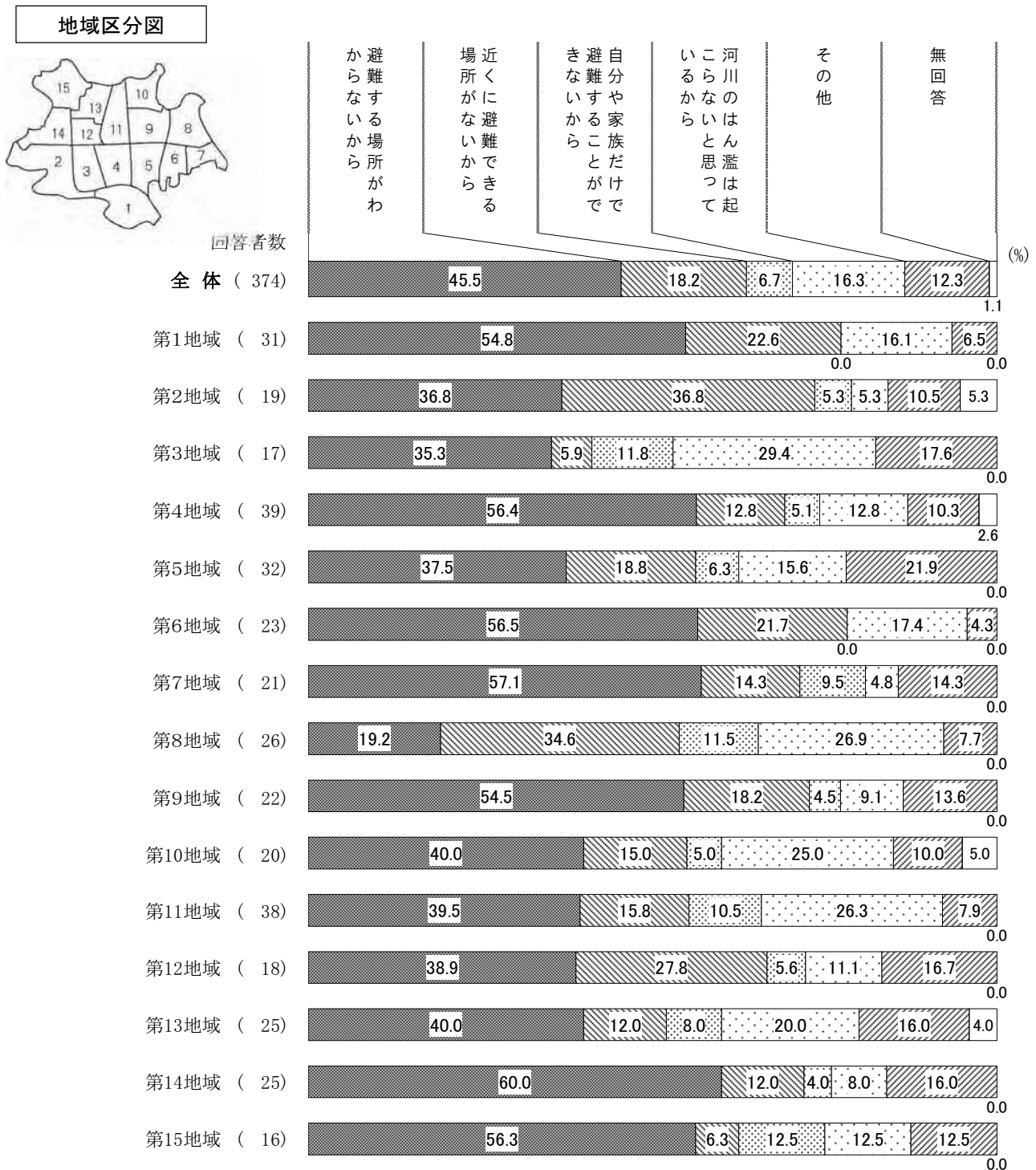
図3-4-1 経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由



イ クロス集計・地域別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

地域別にみると、大半の地域でサンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「避難する場所がわからないから」は第14地域が60.0%と最も高く、第4地域、第6地域、第7地域、第15地域で5割台後半と高くなっている。一方、第8地域が19.2%と他の地域に比べて特に低くなっている。また、「近くに避難できる場所がないから」は第2地域と第8地域で3割台半ばと他の地域に比べて高く、第3地域と第15地域で1割未満と低くなっている。

図3-4-2 地域別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

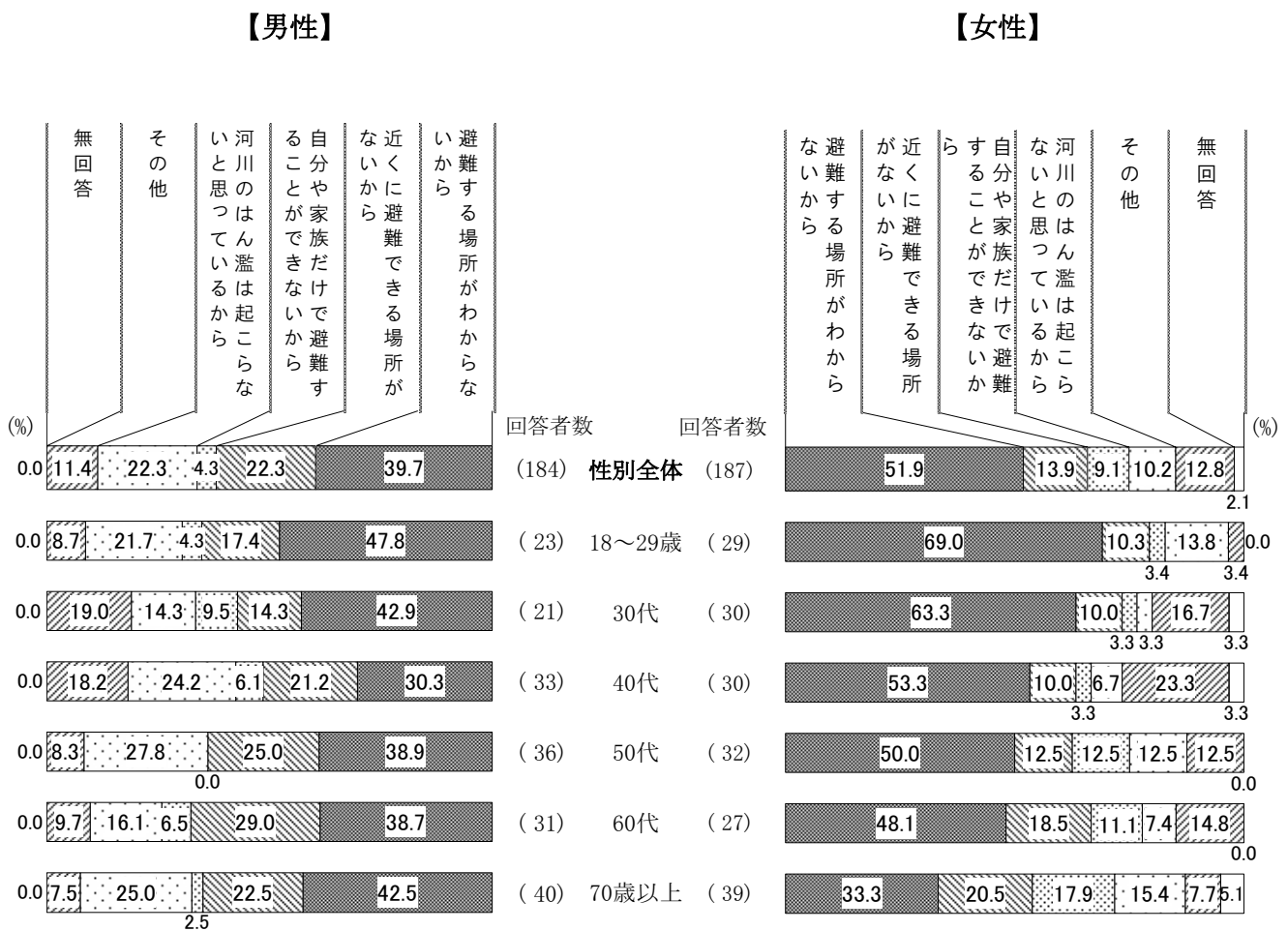


ウ クロス集計・性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

(ア) 性別にみると、「避難する場所がわからないから」は女性 (51.9%) の方が男性 (39.7%) より12.2ポイント高くなっている。逆に、「河川のはん濫は起こらないから」は男性 (22.3%) の方が女性 (10.2%) より12.1ポイント高く、「近くに避難できる場所がないから」でも男性 (22.3%) の方が女性 (13.9%) より8.4ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、いくつかの性・年代層でサンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「避難する場所がわからないから」は女性の18～29歳と30代で6割台と高く、男性の40代で3割と低くなっている。

図3-4-3 性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由



（5）河川はん濫による浸水被害の際の対処

問11 河川がはん濫して、浸水被害になるような大洪水が迫っている場合、以下のア～カまでの情報を知ったとき、あなたは避難しますか（自宅内の高い場所への移動も含む）。
（○はそれぞれ1つずつ）

■「避難する」は〈区から避難指示が発令〉が6割台半ば、〈自宅付近が浸水〉が6割

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫による浸水被害の際の対処

（ア）情報を知って「避難する」の割合が多い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ① 〈オ 区から避難指示が発令されたとき〉（65.1%）
- ② 〈カ 自宅付近が浸水したとき〉（60.7%）
- ③ 〈イ 近所の人が避難をしているのを見たとき〉（38.3%）
- ④ 〈エ 区から高齢者等避難が発令されたとき〉（31.7%）

（イ）「避難する」は前回調査に比べてすべての項目で減少しており、減少が大きい順に、〈ア 数時間後に暴風雨で外出できなくなると見込まれたとき〉（-5.7ポイント）、〈ウ 足立区に大雨・洪水警報が出たとき〉（-5.4ポイント）、〈イ 近所の人が避難をしているのを見たとき〉（-3.8ポイント）、〈カ 自宅付近が浸水したとき〉（-3.8ポイント）などとなっている。

図3-5-1-① 経年比較／河川はん濫による浸水被害の際の対処

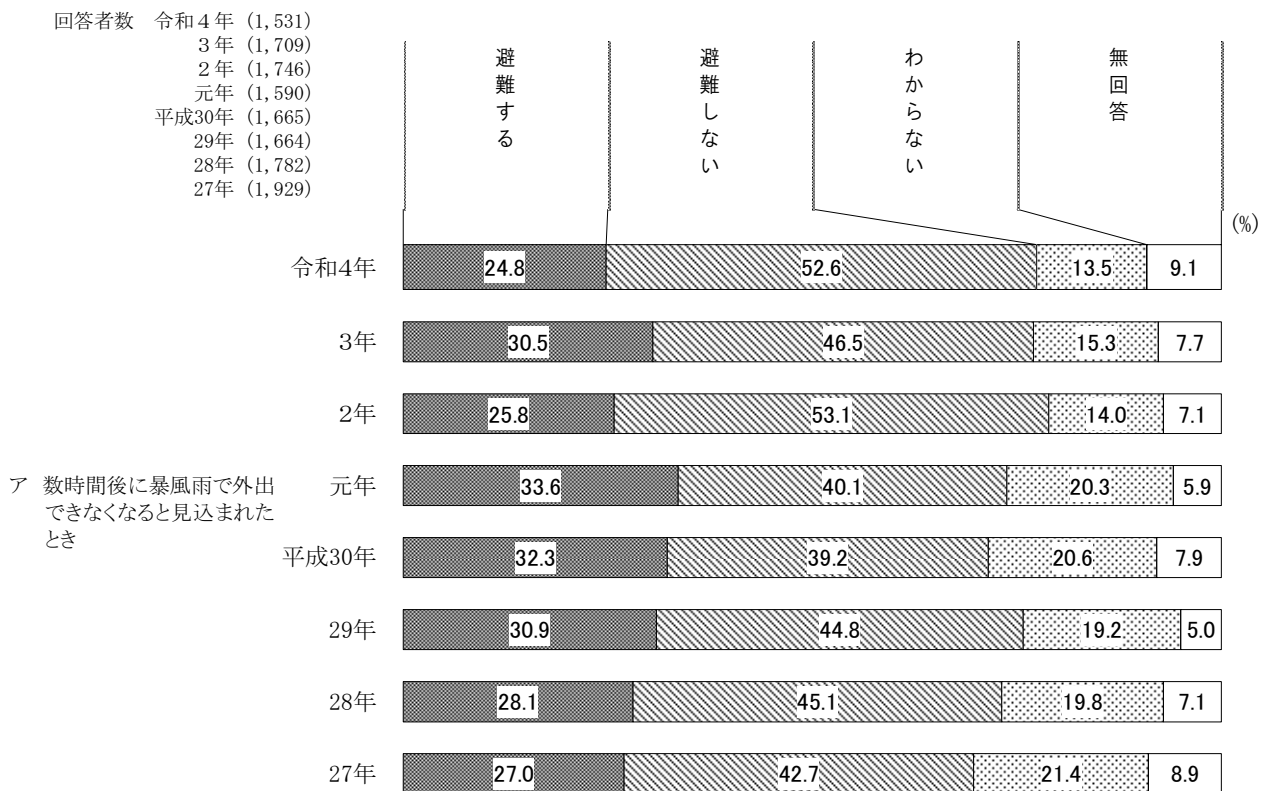


図3-5-1-② 経年比較／河川はん濫による浸水被害の際の対処

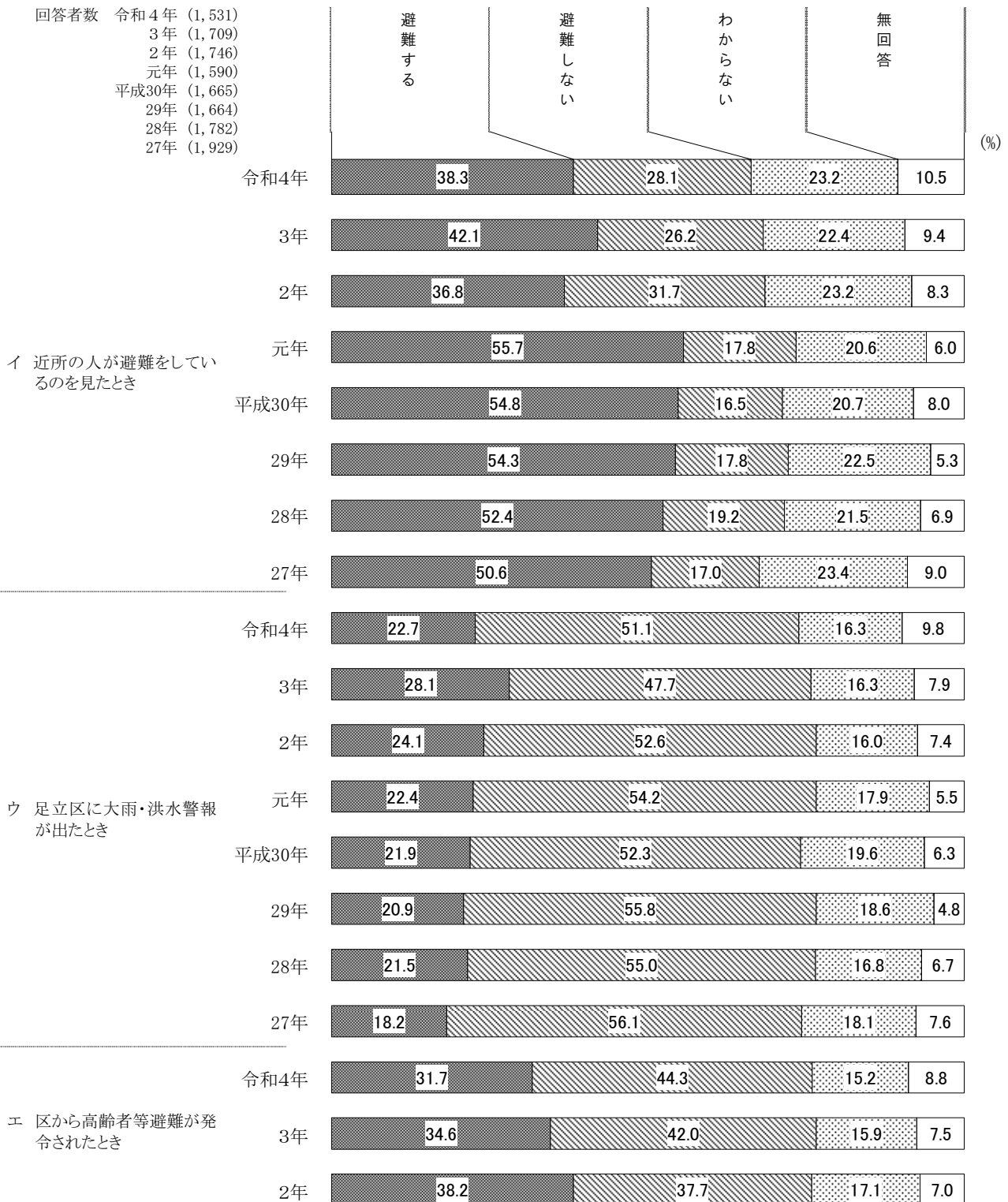
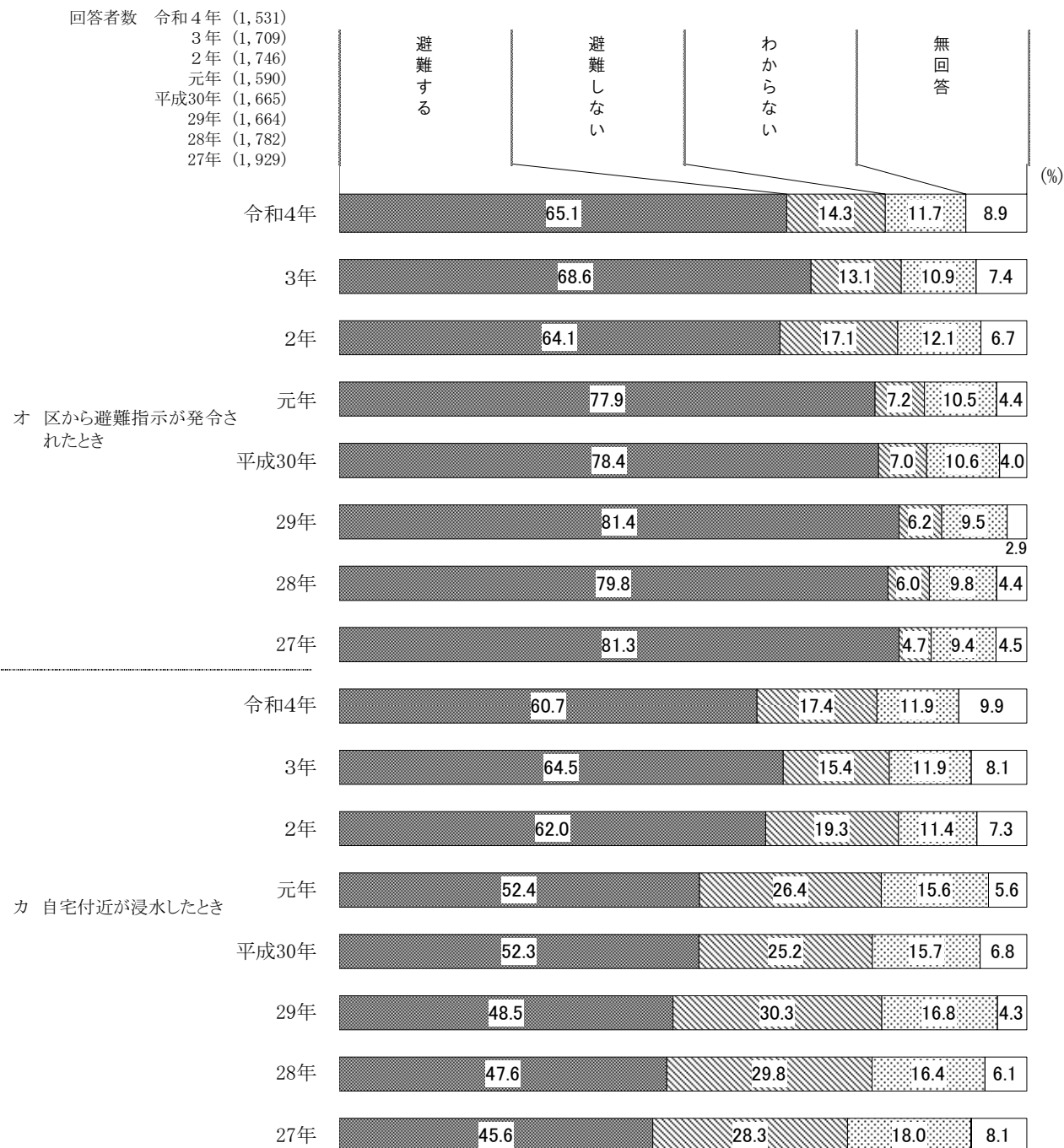


図3-5-1-③ 経年比較／河川はん濫による浸水被害の際の対処



※「エ」は令和2年度からの新設項目。令和2年度の「区から避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき」から令和3年度で表現をかえた。

※「オ」は令和2年度の「区から避難勧告・指示が発令されたとき」から令和3年度で表現をかえた。

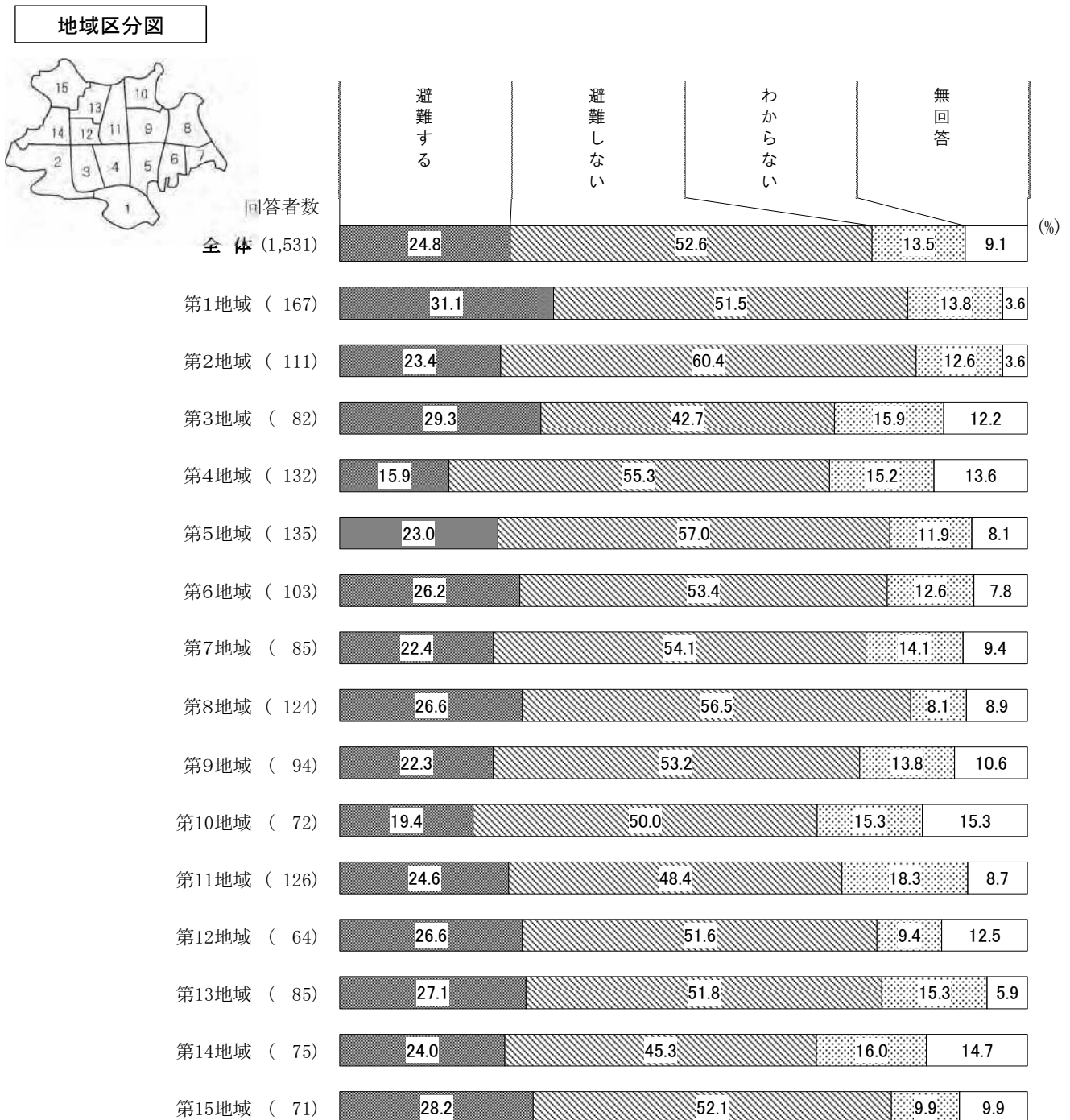
イ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈ア 数時間後に暴風雨で外出できなくなると見込まれたとき〉

〈ア 数時間後に暴風雨で外出できなくなると見込まれたとき〉を地域別でみると、「避難する」は第1地域で31.1%と最も高く、次いで第3地域（29.3%）となっている。一方、「避難しない」は第2地域で60.4%と最も高く、次いで第5地域（57.0%）となっている。

図3-5-2-① 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈ア 数時間後に暴風雨で外出できなくなると見込まれたとき〉



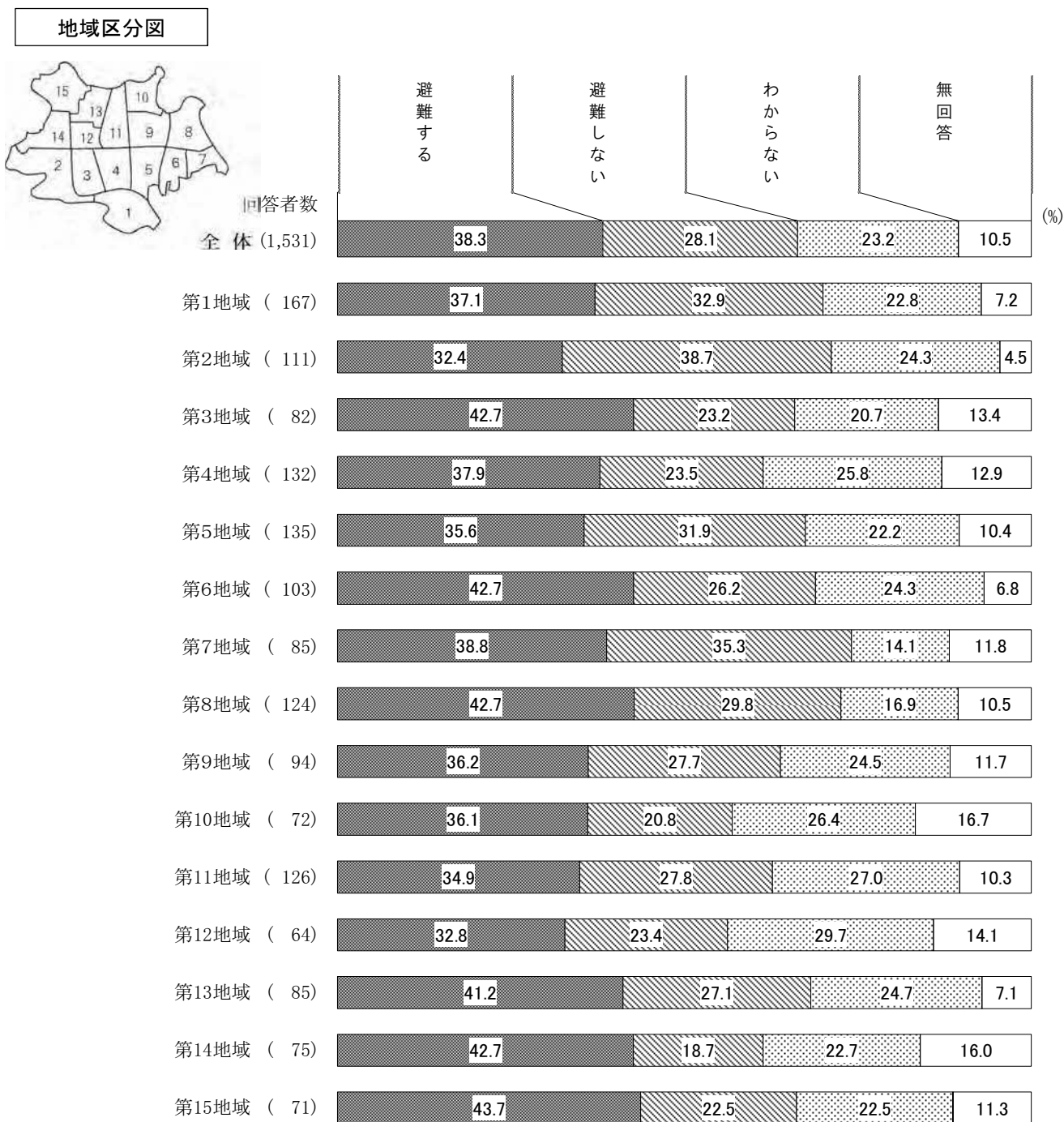
ウ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈イ 近所の人が避難をしているのを見たとき〉

〈イ 近所の人が避難をしているのを見たとき〉について地域別でみると、「避難する」は第15地域で43.7%と最も高く、次いで第3地域、第6地域、第8地域、第14地域（各42.7%）などとなっている。一方、「避難しない」は第2地域で38.7%と最も高く、次いで第7地域（35.3%）となっている。

図3-5-2-② 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈イ 近所の人が避難をしているのを見たとき〉



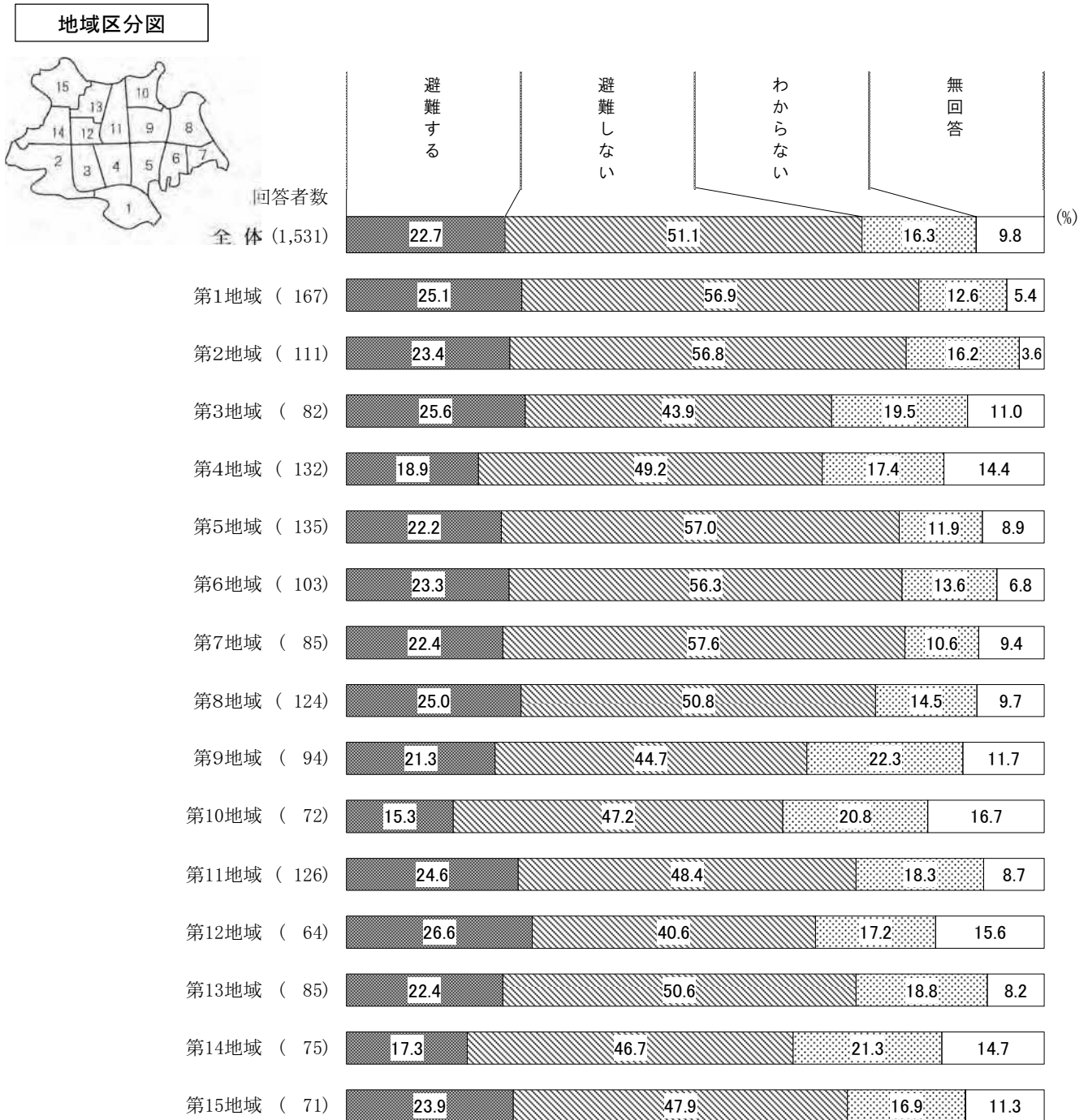
エ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈ウ 足立区に大雨・洪水警報が出たとき〉

〈ウ 足立区に大雨・洪水警報が出たとき〉について地域別でみると、「避難する」は第12地域で26.6%と最も高く、次いで第3地域（25.6%）となっている。一方、「避難しない」は第7地域で57.6%と最も高く、次いで第5地域（57.0%）となっている。

図3-5-2-③ 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈ウ 足立区に大雨・洪水警報が出たとき〉



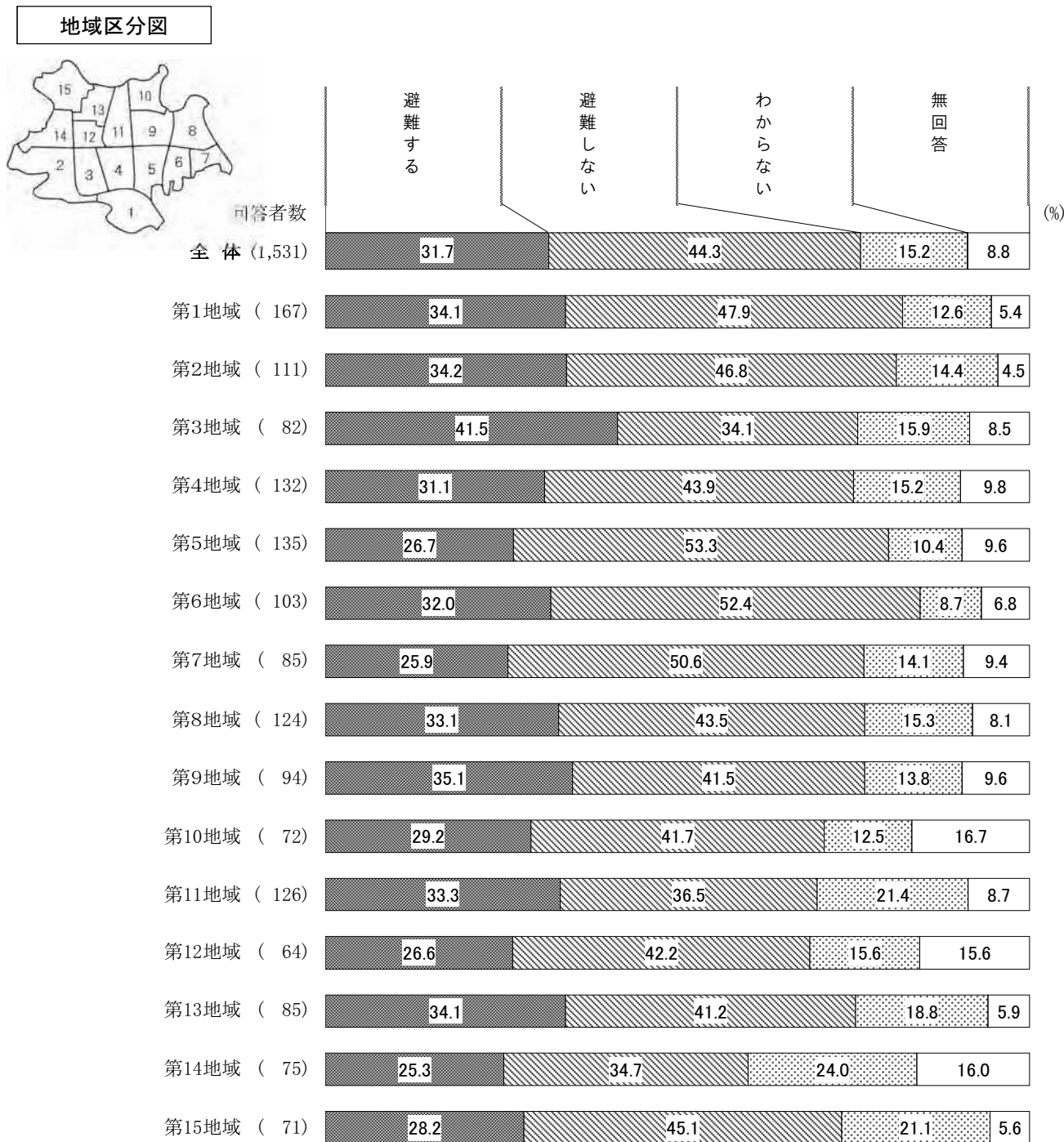
オ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈エ 区から高齢者等避難が発令されたとき〉

〈エ 区から高齢者等避難が発令されたとき〉について地域別でみると、「避難する」は第3地域で41.5%と他の地域に比べ特に高く、次いで第9地域（35.1%）となっている。一方、「避難しない」は第5地域で53.3%と最も高く、次いで第6地域（52.4%）となっている。

図3-5-2-④ 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈エ 区から高齢者等避難が発令されたとき〉



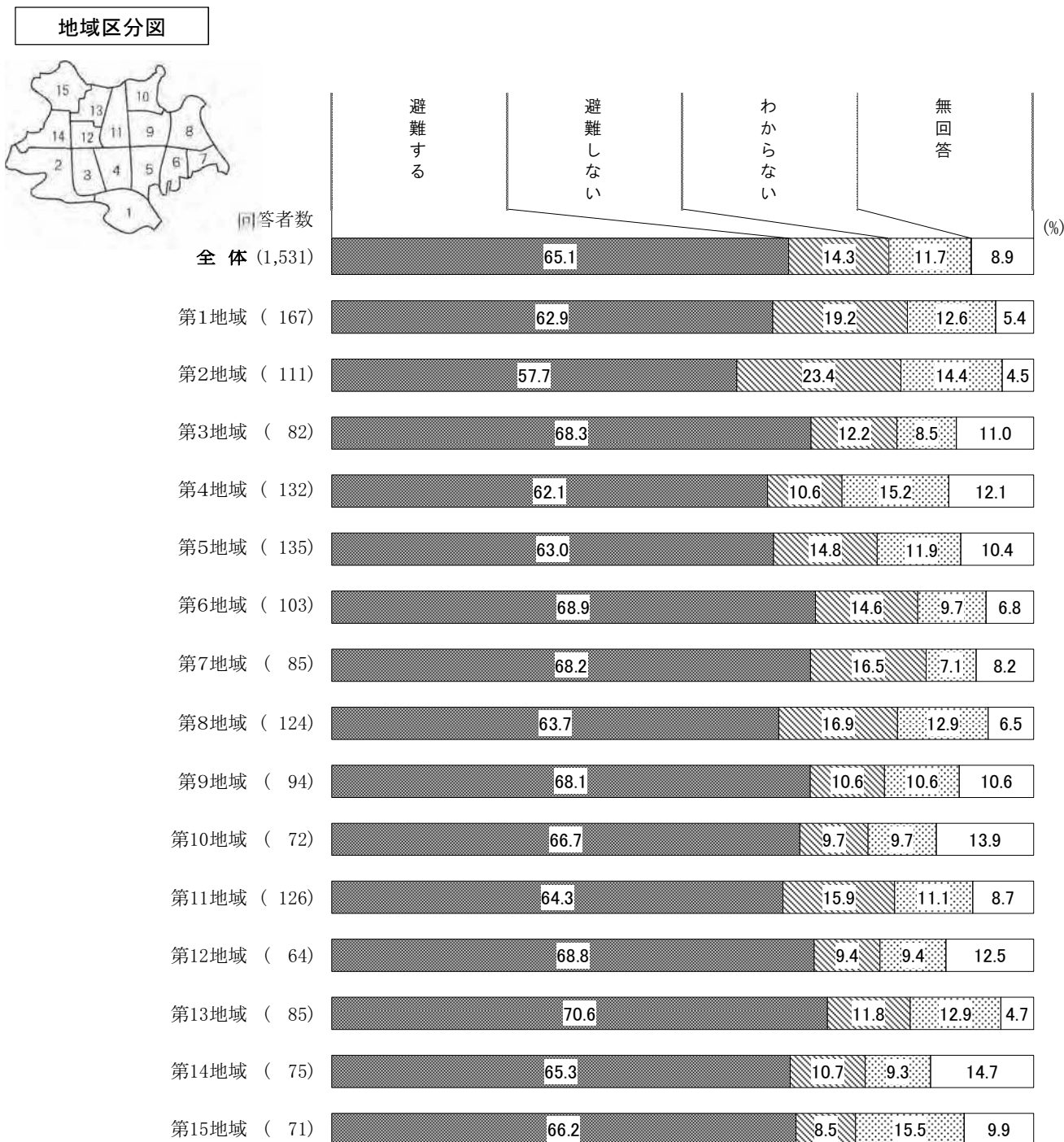
カ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈オ 区から避難指示が発令されたとき〉

〈オ 区から避難指示が発令されたとき〉について地域別でみると、「避難する」は第13地域で70.6%と最も高く、次いで第6地域（68.9%）となっている。一方、「避難しない」は第2地域で23.4%と最も高く、次いで第1地域（19.2%）となっている。

図3-5-2-⑤ 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈オ 区から避難指示が発令されたとき〉



キ クロス集計・地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈カ 自宅付近が浸水したとき〉

〈カ 自宅付近が浸水したとき〉について地域別でみると、「避難する」は第13地域で69.4%と最も高く、次いで第12地域(67.2%)となっている。一方、「避難しない」は第2地域で26.1%と最も高く、次いで第7地域(23.5%)となっている。

図3-5-2-⑥ 地域別／河川はん濫による浸水被害の際の対処

／〈カ 自宅付近が浸水したとき〉

